

科目名 **発展地理**

普通科文系選択後期  
3年・2単位

目標 世界の地理的認識をより深めるために、「世界地誌」に関する学習を拡充するとともに課題を探究。

位置 2年～3年次前期に学習した地理Bの内容を復習しながら、地理学習と実生活との結びつきを強める「防  
づけ 災」や「各国地誌」に関する学習を充実させ理解させる。

■使用する教材

- ・教科書 新詳地理B
- ・資料集 新詳地理資料 COMPLETE2022
- ・問題集 NEW COM-PASS
- ・自作プリント ほか

■学習する単元とおおよその時期

- ・系統地理の基礎知識の確認【10月～11月】
- ・問題集を活用しながら地誌的・  
系統地理の確認【12月～1月】

■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

予習 教科書の用語確認

授業 講義形式中心

問いに対して答える。

過去などの模試問題を解きながら解説し

理解に努める。

復習 プリント・問題演習

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A 地理の諸事象に関して、様々な資料を活用しながら、多面的・多角的に捉えることができる。	系統地理を中心に理解し、多角的・多面的に考察し、公正な判断や適切な表現をすることができる。	自ら課題を設定するなど主体的に授業に参加し、意欲的に解決しようとする態度を身につけている。
	B 基礎的な地理事象を様々な資料を活用し、その知識を理解している。	系統地理を理解し、判断や表現をすることができる。	主体的に授業に参加し、熱心に授業に取り組むことができる。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	定期考査 課題の提出内容	定期考査 発言態度・内容	授業中の参加態度 課題の提出状況

■領域ごとの授業時間数について（現代の国語、言語文化 のみ）

単 元 名								
話すこと・聞くこと								
書くこと								
読むこと								

※前頁の「■学習する単元とおおよその時期」とリンクさせてください

■領域ごとの授業時間数について（英語コミュニケーションⅠ のみ）

単 元 名								
聞く								
読む								
書く								
話す（やりとり）								
話す（発表する）								

※前頁の「■学習する単元とおおよその時期」とリンクさせてください

■自己評価について

授業評価と連動させた Google フォームで、実施します。

- ・生徒自身が3観点について、振り返る
- ・生徒自身の取り組み方について
- ・教員の授業について